

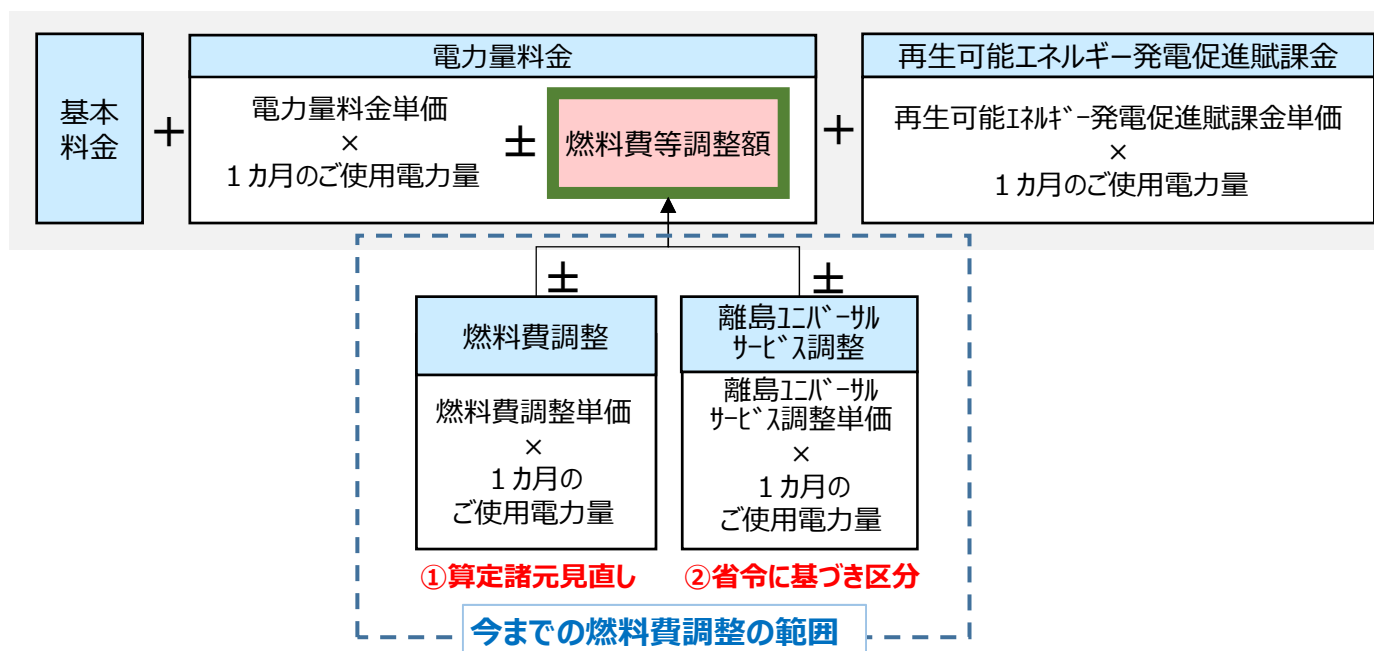
燃料費調整制度の見直しについて

当社は、燃料費調整制度により、火力燃料の輸入価格（原油、LNG、石炭）の変動を、あらかじめ定めたルールにより、毎月の電気料金を通じて調整（燃料価格が基準を上回る場合はプラス調整（電気料金へ増額）、下回る場合はマイナス調整（電気料金から減額））を行っております。

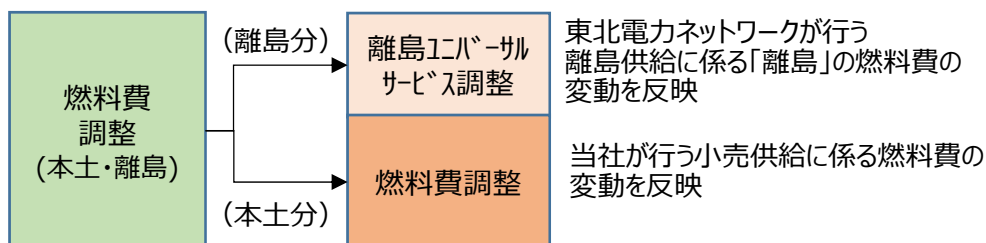
今回の料金改定においては、燃料費調整制度について以下の見直しを行いました。

【燃料費調整の見直し内容】

- ① 最新の電源構成等を反映し、基準燃料価格・基準単価等の燃料費調整単価算定の基礎となる算定諸元を見直し。
- ② 経済産業省令にもとづき、これまで燃料費調整に含まれていた離島供給（東北電力ネットワークが供給）に係る火力燃料費の変動を区分して「離島ユニバーサルサービス調整※」として算定。



【離島ユニバーサルサービス調整のイメージ】



※ 「離島ユニバーサルサービス調整」とは、本土と電力系統が接続されていない離島において一般送配電事業者が行う離島供給に係る火力燃料費の毎月の変動を、託送料金を通じて調整するものです。託送料金を通じて行われるものですが、経済産業省令にもとづき、託送料金と同様の調整を電気料金においても行うものです（託送料金と同じ単価）。

【燃料費調整制度における基準燃料価格および基準単価の変更】

内 容		単 位	旧燃料費調整	新燃料費調整※2
基準 燃料価格	基準となる平均燃料価格	1kl当たり	31,400円	85,400円
上限価格	平均燃料価格の上限※1	1kl当たり	47,100円	128,100円
基準単価	平均燃料価格が1,000円/kl変動した場合の電気料金単価への影響額	1kWh 当たり	22銭1厘	22銭0厘

※1 平均燃料価格の上限は、規制料金のみ適用となります。

※2 実際の変更につきましては、今後、経済産業大臣の認可を受けて決定されます。

【離島ユニバーサルサービス調整制度における基準燃料価格および基準単価】

内 容		単 位	離島ユニバーサルサービス調整※
離島基準 燃料価格	基準となる離島平均燃料価格	1kl当たり	57,700円
離島 上限価格	離島平均燃料価格の上限	1kl当たり	86,600円
離島基準 単価	離島平均燃料価格が1,000円/kl変動した場合の電気料金単価への影響額	1kWh 当たり	1厘

※ 離島ユニバーサルサービス調整額の算定は、託送約款と同じ数字を使用して算定いたしますが、2023年4月に託送約款の変更が予定されているため、託送約款の変更内容にあわせて見直します。